

村山市地域おこし協力隊

令和2年度活動報告書

成毛 清和子

SAWAKO NARUKE



情報発信をメインに活動しています。今年新型コロナの影響で静かな一年となりましたが、市内の桜スポットをまわり撮影した動画を編集したり、手ぬぐいや記念 T シャツを作るなどに取り組みました。私にとって初の試みでしたがとても楽しく作ることができたと思います。また、ドローンを安全に操作・飛行するためにドローンの資格を取得しました。来年度も引き続き、新しいことにチャレンジしていきます。

世界初！？ じゅんさい柄の手ぬぐい

全国でもめずらしい「天然じゅんさい」は村山市の特産品のひとつ。7月の最盛期には、遠方からやりピーターなどたくさんの方が摘取り体験に訪れます。

そこでイベント配布用にとデザインして作ったのがじゅんさい柄の手ぬぐい。白地に緑のじゅんさいとアクセントに赤い花芽のデザインは”涼しげ”だと好評でした。手ぬぐいは湿度の高い日本にとっても合っていて、ハンカチやタオル代わりに使ったりと、魅力が見直されてきているのでオススメです。



ドローン空撮をはじめとした映像



活動の中で撮った写真や動画は、「移住・定住ハンドブック」や10月よりスタートした「子育て支援プロジェクト」の動画などに提供しています。

村山市でも多くの被害を受けた7月の豪雨では、消防署からの依頼でドローンを使って浸水被害状況の確認作業にあたり消防署と市役所内で映像を共有しています。その映像は市報や災害支援サイトなどで活用されることとなりました。



未来へとつなぐTシャツ

5年前に閉校となった楯岡高等学校。取壊し前のお別れイベントに合わせて記念 T シャツを作りました。卒業生たちの大切な思い出と、村山市のこれからの未来のために…。

普段使いしやすいシンプルなデザインは、甌葉プラザ、旧楯岡高等学校、東沢バラ公園と村山市役所が線画で描かれています。当初はイベント限定でしたが、一般販売希望の声により12月末に数量限定販売しました。



農業関連



今年度は「村山市6次産業化推進協議会」へ参画し、季刊誌の発行やブルガリアの家庭料理などの商品開発に取り組んでいます。県主催の「6次産業ビジネス・スクール」では、事業化のため知識や事業計画のノウハウなどを学びました。

市内で実施している「アグリランドむらやま事業」の取材へ積極的に足を運び、SNSでその様子を発信しています。

市内産の野菜を使用した商品開発



リュテニワ



芋煮おにぎり



ムララ号の密着取材



父母報恩寺の桜

その他の活動

～取材や体験、企画など～

はじめて食べた
ポポー(左)と糸かぼちゃ(右)



視線を送ってくる
ひつじ。かわいい！



「MURAYAMA」
iPhone ケース
発売中です！



「和菓子づくり体験」講座



紅王(試供品)の試食



ラ・フランスの予冷庫を見学



抹茶点て



最上徳内神社例大祭



たけのこ堀り



発酵中の「もも色どぶろく」

プライベートでも いろいろ挑戦しています！



除雪も楽しく



トマトのわきどり



ついに観岳山頂へ。
..実は初登山



さくらんぼ収穫

地域の方とピザづくり団体を立ち上げました。地域の食材の使用して食育を交えた新たな企画をしていきます。ピザ窯で焼いた手作りピザは、とってもおいしいです！

成毛 清和子 (なるけ さわこ) / 平成 31 年 4 月着任 / 出身地：東京都練馬区

経理事務、営業事務、プロジェクトアシスタントやグループセクレタリーなどの仕事に就き、マルチタスク処理の経験を積んできました。4 年前に就農を目指し他県の農業担い手施設にて住み込みで夏野菜の栽培について学び、その後 6 次産業化も視野にいれています。今後なにかに役立てればと野菜の資格や国家資格「食品衛生責任者」を移住前に取得してきました。また、ドローンのこれからの可能性にも興味を持ち、無線免許も取得。



磨 恵美 (まろ めぐみ)

自己紹介

令和元年10月28日に神奈川県横浜市より移住しました。
協力隊として令和元年の11月1日着任、令和2年度で2期目、令和3年度で3年目の最終年度となり、任務は農業系で農地継承と就農になります。

村山市に来る前は神奈川県横浜市の観光果樹園で援農しながらブドウや柿やみかん等を3年ほど教わっておりました。

その前は映像機器のレンタル会社やIT関連会社等で働いていました。
趣味はインコで愛鳥の映像をYoutubeに投稿してたりします。

https://www.youtube.com/channel/UCozYlqzYqy4m7TI9pJD4a_w/videos

活動について

市と直接雇用の無い協力隊として着任後、協力隊終了後に自身が農家になり村山市で就農する事を目標に活動をしています。

基本的には就農に必要な知識や技術を学びつつ市内の農家さんの下で研修やお手伝いに日々従事しています。

農業について

農家になり農業をやりたい！と思ったのは数年前です。

当時は東京都に住んでいたため、ベランダでプランター栽培でしたので農地のある地方に興味を持ち始めた頃です。

その後神奈川県に戻り神奈川県の農業アカデミー（旧農業大学校）で数日間の体験コースを受講し、ますます興味を持ちました。

横浜市でも農家の援農人口を増やす為や家庭菜園をやりたい人向けの講座“市民大学農業講座（2年間）”を受講。

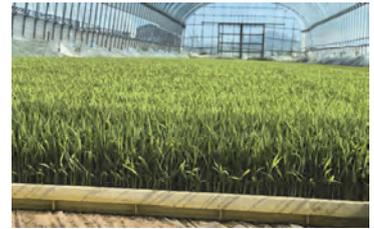
1年目は座学、2年目は農家さんの所で実習でした。

実習先の果樹農家さんの下で援農を約3年間しておりました。

その頃は早く農地を持ちたい気持ちでいっぱい、新・農業人フェアに行ったり、日々移住情報をチェックしていました。

その後ご縁があり農業の協力隊として村山市に移住してきました。

育苗センターと田植え



さくらんぼ



市民農園



令和2年度の活動内容

○農業

令和2年4月以降

稲の苗の育苗ハウスの研修・手伝いから始まり田植えの補助作業

さくらんぼが始まってからは2軒の農家さんの元で作業

夏～秋はトマトのハウス栽培と里芋の研修・手伝い等の作業

10月以降は啓翁桜を少しとそば組合の手伝いを少しやらせて頂きました。

農家さんは基本毎日朝早くから暗くなるまで作業をしています。

朝仕事には参加しませんでした。それ以外は参加し作業しておりました。

○市民農園

村山市で何が栽培出来るかなどを知りたくて、またすぐに農地を借りる事が出来なかった為、市民農園を3区画借りて野菜栽培もしていました。

(とうもろこし、里芋、ズッキーニ、コリンキー、スナップエンドウ、小玉スイカ、ナス、トマト、ミニトマト、大根、ネギ、ひまわり、紅花など)

栽培は8m×8mを3区画なので動力のある農機具は使わないとルールを自分に課してやりました。

○資格や講習会

農林大学校が行っている講習や研修に参加。

(働きながら学ぶ果樹講座や安全講習など)

被覆アーク溶接の特別教育で修了書を頂きました。

狩猟免許にも挑戦し、第一種とわな猟の免許を頂きました。

○その他

村山市で農家になる為に空き家を取得。

休みを利用してセルフリフォームにもチャレンジしました。

トマトと里芋



稲刈り



ハウスの片付け



そば刈り



最終年度に向けて

私にとって令和3年度が協力隊最後の年になります。

まだ確定ではありませんが12月末に退任し、そこからは農家として生計を立てれるように、令和3年は村山市で定住できるように準備する1年になると思います。

農業には農地が必要で、農地を借りるには住む所を決めないといけないと思い令和2年の初めから空き家を探していました。

現在は家の裏に農地がある空き家を譲って頂き、4月よりその場所で農業をしつつ生活できるようにリフォーム等を行っています。

自分の農地で作物を栽培しつつ、農家さんの元でお手伝いをしつつ学ばせて頂き、必要な知識や資格を取り、実際に市場への持ち込みや販売等も行う予定でおります。

西城 舟二（さいじょう しゅうじ）



令和2年2月1日着隊。約21年住んだ東京都から移住。宮城県気仙沼市出身の本年46歳。趣味は読書、ジョギング、山登り（を本格的に始めたい！）、散策、剣道（五段）、居合道（一級）。主な任務は、居合道を通じて当市の魅力をPRすることです。

1. 任務紹介

(1) 居合道を通じて当市の魅力をPRすること

(a) 居合道体験プログラム商品化支援

当市では「居合道発祥の地」として、「居合道の聖地」で本格的な「サムライ体験」が出来ます。

私は、体験旅行者の申し込み受理後、体験者用道衣・袴、模擬刀その他資器材の用意、道衣・袴の着付け（有名俳優の着付けを担当したことも！）司会、講師支援、会計、片付け、刀の手入れ等々。いわゆる「黒子」、表には出ません（たまに出ますが）。



（居合道体験風景）

しかし、お客様が快適に体験を終え「ありがとう、楽しかった」、「道着や袴の折り目が正しく畳まっていたスゴイ！」とご感想を頂くと、活動意気を感じます。

体験旅行を機に当市で居合を本格的に始める方も出てきて増々嬉しい！

一方、任務には指導者の後継者になることも含んでいます。

私は、裏方業務を知りながら居合道の技を地道に学んでゆくことが、商品化を超えて更にプログラムが良いものになると信じ、日々活動しています。

(b) マスメディアを通じた広報活動

移住促進ウェイト『リアルローカル山形』、テレビ番組『やまがた市政の目』の取材を受け、居合道を通して村山市の魅力、自治体の垣根を払った山形県全体が住みやすくなるための自分の考えを述べました。取材に対し発言する事は大変勉強になり、今後の活動の基礎になると感じました。



（『やまがた市政の目』取材風景）

(2) 市、他団体との連携した活動

(a) 市商工観光課との連携

年二回行われる『バラまつり』の準備として「東沢公園」の整備、その他各種

イベントの準備を市職員さんの支援として作業をしました。持ち前の「パワー」を駆使して重量物も何のその！

一方、「パワー系」だけでなく、小学校「総合学習」に講師として「ヨソモノから見た村山市」で講演を行いました。「市の子供たちは、挨拶が素晴らしい！！」と。

(b)村山市観光物産協会との連携

先日、日頃「居合道体験プログラム」で連絡を取り合っている同協会の職員さん、そして当市の観光名物のPR担当の方々が集い、観光会社向けのオンラインによる「観光プロモーション」を行いました。

東沢バラ公園、最上川三難所舟下り、クアハウス基点、農業体験等のPR、そして「居合道体験プログラム」の私の紹介と先生方の演武を行いました。本年直接出張で旅行会社に営業出来ないため、この営業方式は初の試みでした。しかし打ち合わせ等を重ね、全員で息の合ったプレゼンが出来ました。



(バラリーマンによる司会風景)



(私の居合道体験紹介風景)

2. 活動の基礎作りとして

村山居合振武館及び周辺清掃・環境整備

市体育施設担当者の方々と協力して、秋は落ち葉を掃き清め、冬は除雪作業を行っています。

剣道・居合道その他振武館を使用する方々が気持ちよく使えるように、そして「居合道の聖地」として恥じないよう清浄な状態の維持に努めています。やはり日頃の行いが大事だと思うからです。

居合道の祖 林崎甚助先生が空から見て喜んでくれればいいな。



(秋・冬の振武館での作業後)

3. 最後に～「地に足を着けた」活動を

刀や模擬刀を使う活動は、一見華やかなようで危険が伴います。そして「居合道発祥の地」での活動です。だからこそ、平常心かつ謙虚な心で粛々と業務を進めてまいります。万一、方向を誤りそうな場合は忌憚なくお叱り頂きたいと思っております。

以上



はじめまして。小関 恵子（こせき けいこ）です。
2月1日より村山市の地域おこし協力隊の一員になりました。
実家は東根市のさくらんぼ農家です。

短期大学の部活動で競技ダンスをはじめてから
20年間、四ツ谷のスクールに勤務して社交ダンスの講師をしていました。
お客様は 歩き始めたばかりの子から、80代の方まで。

毎年6月になって、さくらんぼをお裾分けすると
皆、大きさにびっくり。美味しさには、もっとびっくり。

「収穫のお手伝いがしたい」「山形に行ってみたい」という人が増えたので
皆に来て欲しい！たくさんの人に山形を知って欲しい！と
『農業体験つきの山形観光ツアー』を企画しようと思いました。

情報を集めるために伺った、有楽町の『やまがたハッピーライフ情報センター』で
私の母校でもある楯岡高校が廃校になり、利活用されて
村山市の施設として生まれ変わることを知りました。

人と人とを結ぶ、情報の発信地、歴史をつなぐ、多種多様な事業者が集まる

ここがまた、いろいろな人で賑わい、交流の場になるなら
こんなに誇らしい仕事はないなと思い、応募を決めました。



令和4年春オープン予定 にぎわい創造活性化施設
『Link MURAYAMA』 管理、広報担当



◁
2018年3月、浅草・浅草寺で
大わらじを発見！

⇒
先日、TUY「Nスタやまがた」の
取材を受けました。テーマは
『コロナ禍の移住・地方選択』
改修工事中の楯岡高校にて。



『Link MURAYAMA』のFacebookページを作りました！
👉 村山市HPからご覧ください！！
👉 Twitterも始めました👈



これから随時、皆様に情報をお届けします☺